

国語授業モデル（説明的文章の読解）

段階	時間	学習項目	学習内容 ※ 下線の事項は、重点指導事項	主な発問・働き掛け	指導上の留意点 ■ 評価
予習	(20分)	○予習する	○通読する。(音読、黙読／疑問点や不明点に傍線を引きながら読む。) ○新出語句の意味調べをする。○新出漢字の書き取り練習をする。 ※ 次時の指導計画に基づいて、事前に課題を与える。		
帯学習	(5分)	○ことば学習	○ 新出漢字の書き取り。○ 新出語句の意味調べ。 ○ 漢字小テスト ○ 漢字の成り立ち調べ 等 ※ 語彙を豊かにするためのピンポイント学習を継続して行う。		
導入	つかむ 2分	○学習目標の把握する	① <u>本時の学習目標を書く。</u> ②文章構成図で学習内容を確認する。	○本時の学習目標を明確に自覚させる。 ○文章全体の把握、前時との関連の理解等のため、文章構成図を有効活用する。	
	5分	○文章を読む (本時学習対象の範囲)	③ - A 傍線を引きながら範読を聴く。 ③ - B 音読する。 ③ - C 傍線を引きながら黙読する。	○授業のねらいに応じて、音読、黙読等を選択し、最適な読み方を指示する。	
展開	読む 5分(x2)	○自力解決する ・個人で ・ペアで ・小集団で	④ 叙述に基づいた自分の考えをノートに書く。	○ <u>発問は1～2程度に絞り込み、叙述に基づいた考えを書くように発問する。</u> ○ねらいに応じて、条件を付ける。(字数・行数制限、特定語句を入れて等)	○机間指導し、効果的な指名の順番、採り上げる考え方等を計画する。 ○叙述に基づいた <u>根拠を必ず書くようにさせる。</u> ■「思考・判断・表現」
	深める 10分(x2)	○集団解決する ・全体で ・小集団で	⑤〔結論〕―〔理由〕の順序で意見を発表する。 ⑥ <u>比較しながら、相違点や類似点を発表する。</u> ⑦友達の意見を取り入れて、自分の考えを修正する。 ※ <u>必ず根拠となる叙述について言わせるようにする。</u>	⑥ Aさんに似ている考えはありますか。 ⑥ Bさんと違う考えはありますか。 ⑥ Cさんの○○○という意見についてどう思いますか。等	○〔結論→理由〕の <u>形で発表させる。</u> ○前の発表を受ける形で発表するようにさせる。 ○発表中のキーワードを板書する。 ■「思考・判断・表現」
終末	まとめる (5分)	○まとめる	⑧ <u>自分の言葉でまとめる(学習内容と照合して、一般化する。)</u> ⑨自分のまとめを発表する。 ⑩板書されたまとめを書く。 ⑪文章構成図に書き込む。	⑫話し合ったことをもとにして自分のまとめを書きなさい。	○児童の発表を拾い上げて板書する。 ■「知識・技能」
	身に付 (5分)	○ことばの学習	⑫短文づくりをする。 ⑬指示語の示す語句や文を調べる。等		○表現の仕方や指示語について指導する。

復習	3分	○振り返る	⑰学習目標に対する自己評価を書く。 ⑱次時の学習予告を聞き、予習内容を把握する。	⑬学習目標について振り返りましょう。	■「主体的に学習に取り組む態度」の評価に反映させる。
	20分	○復習する	○学習した漢字の書き取り練習をする。 ○学習した表現を使った短文を書く。 ○関連読書をする。		○次時につながる課題を工夫する。

* () の時間・事項は、本時のねらいに応じて省略する場合がある。